

## 北陸民放クラブだより

富山

門外不出の国宝仏像

再現像で公開

北風と南風がぶつかり不安定な天候となった3月10日、「歩こう会」は高岡市へ。伏木の名刹・勝興寺、八丁道・前田利長廟、それにこの日から市内で展示の「法隆寺金堂・国宝釈迦三尊像」の再現像を見学コースに巡りました。

法隆寺の同仏像は聖徳太子の病氣回復を祈って作られたもの。

再現像は、東京芸大が最新の科学技術を駆使し3Dプリンターで原型を作り、県内の地場産業である高岡銅器と井波彫刻の職人が伝統技を活かし仕上げました。



ウイングウイング高岡の再現三尊像

構成は中央に釈迦如来像、左右に脇侍、後ろは大光背、台座は上下座と框でおよそ4mの高さ、重さは1トン。触って鑑賞することも出来、クローン文化財の精巧さに感激いたしました。

この再現像、この後同大学に戻り大光背に掘られた穴を頼りに飾りを復元する予定とのことです。

石川 理事長に就任して

山田 勲(ITC)

平成29年、北陸民放クラブ・石川が設立して10年を重ねました。この節目の時に理事長職を預かり、責任を痛感しています。

今日、世界を見渡すと、洋の東西で予断を許さない状況かと。一方国内では、共謀罪等の法改正で監視社会へ進むと言われるように、名ばかりの民主主義で殺伐とした世の中に不安を感じざるを得ません。

さて、石川では、北陸新幹線開通3年目に入りました。県下では開通当初とほとんど変わらなず海外、国内各地からの来訪者でにぎわ

を見せています。

このような中、当クラブ設立10年の節目に各地区の民放クラブと交流・連携をはからせていただき、記念イベント等の企画実施に向けた会員の方の英知を求めている次第です。



山田勲新理事長

また、女性会員の中で「女子会」結成も進められ、どのような同好会となるか楽しみでもあります。とにかく楽しい会の組織拡大に強い思いを寄せています。

福井 29年度総会

大滝 寛(FBC)

北陸民放クラブ・福井の平成29年度総会は、4月10日、市内のホテルで地元会社の役員と関西・富

山・石川からの来賓を迎えて開催された。

29年、30年度役員改選の承認も受け、総会の議題の審議は終了。引き続き「龍馬と福井藩が目指した新国家」と題し、『福井あすわ歴史道場』の松下敬一会長の記念講演があった。

幕末の志士、坂本龍馬が福井藩に宛てた書簡が発見された。龍馬の手紙の中に込められた「新国家」「由利公正」への想いが語られ、福井藩による天皇を主体に公議政体国家を目指したクーデター計画もあったと言う。

「近代統一国家」を構想していた橋本左内についても語られた。龍馬は左内と国の行く末に想いを馳せながら「君がため捨つる命は惜しまねど心にかかる国の行く末」と詠った。龍馬の新国家への志は、福井藩と共にこの場所から始まったという。

松下氏の持ち時間をオーバーする熱のこもった講話で幕末の偉人たちに想いを馳せた。

そのあとの懇親会では、久しぶりの懐かしい顔合わせで、酒を酌み交わしながら昔話に花を咲かせ、絆を深めあった。